

心臓マッサージを“正しく”実践するための“見える”教育教材



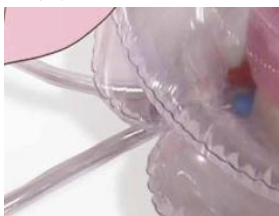
Dock-kun (ドックン)

商標登録 5925772号
特許出願中

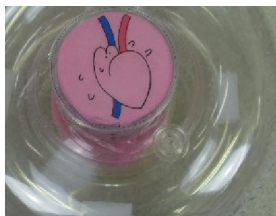
東邦大学医学部
静岡文化芸術大学デザイン学部
サカイ産業株式会社

役割が“見える”教育教材

心臓・血流の役割



呼吸との連動



役割が見えるからこそ効率的に高い技術が修得できます。

- 透明だから心臓の仕組みと役割が“見える”。
- 水を使って、血液の流れが“見える”。
- バルーンの空気が出入りし、呼吸との連動が“見える”。

多くの人に修得してほしい

講習サポート



子どもから大人まで



小中学生から大人まで、誰でも体験できる教材です。

- 映像資料（ホームページよりダウンロードしてください）を使って、正しく修得。
- 軽量(約1kg)・コンパクトで常備しやすい。

“正しい”心臓マッサージを修得

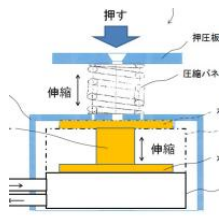
正しい位置



一般成人の胸郭の幅と厚み、肋骨の弾性を再現した教材です。

- 圧迫する正しい位置を修得できます。
- 圧迫する正しい負荷量を修得できます。命を救うためには、小学生にとってかなりの力が要ることが分かります。

正しい強さ



正しい深さ



正しい速度



正しい心臓マッサージを行うと最も水がよく流れるように設計されています。

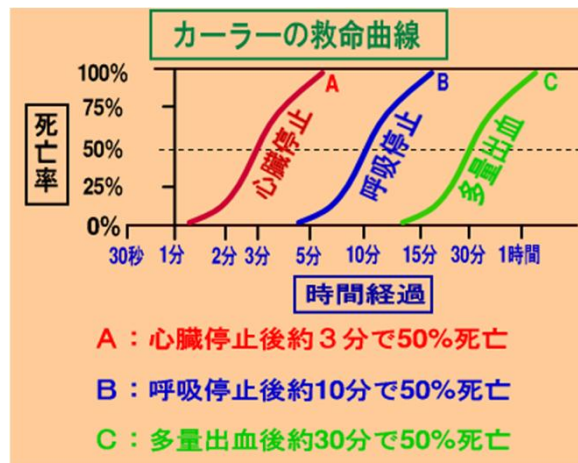
- 水量を見ながら、正しい深さと速度を修得できます。ただ単に必死に心臓を押し続けるだけでは、水はよく流れません。しっかり引くことが重要です。
- 深さ(成人: 5～6 cm)、速さ(100～120回/分)

心臓マッサージの目的

心臓マッサージの目的は、止まってしまった心臓に外から力を加えて血液を拍出させることで、脳などの大切な臓器に酸素を送り続けることです。

心臓の動きが止まると、臓器に血液が流れません。酸素が運ばれなくなり、様々な障害が発生します。例えば、脳は血流が4～5分間止まってしまうと回復することはありません。倒れた直後からの心臓マッサージの有無によって、傷病者の運命が大きく変わってしまいます。

適切に行えば社会復帰率を2倍以上に向上させることができます。いざというときに正しく行うためには、実習を通じてしっかりと技術を修得しておくことが欠かせません。



心臓が止まったら、1分でも早く心臓マッサージを開始することが重要です。

Dock-kun開発の思い

子どもたちにも心臓マッサージをできるようになってほしい。

東邦大学医学部 杉山篤教授、静岡文化芸術大学デザイン学部 伊豆裕一教授、サカイ産業株式会社の3者は、「小中学生でも分かりやすく心臓マッサージを実習できる教育教材」を念頭に知見と技術を持ち寄り、試行錯誤を重ね、“見える”教育教材Dock-kun（ドックン）を開発しました。講習用の映像資料も作成し、小中学生はもちろん、高校生、地域コミュニティで楽しく正しく修得できるようになっています。



救えなかった命をひとつでも多く救いたい。

突然心停止を起こした人を救うために必要な措置は、自動体外式除細動器（AED）による心臓への電気ショックと適正な心臓マッサージです。近年、AEDは設置が進み、使用説明会なども行われるようになっていますが、一方、質の高い心臓マッサージの修得には実地練習が大切ですが、「高価な人体マネキンを使用する必要がある」、「参加者全員のための実習機会を作りにくい」、「心臓マッサージの仕組みを理解できない」という課題が指摘されてきました。

「救えなかった命をひとつでも多く救いたい」。そのためには、上記の3課題を解決した教育教材を用いた実習が必要不可欠と考えます。

東邦大学医学部教授 杉山 篤

キット内容



* この他にバケツ、洗濯バサミをご準備ください。

お問い合わせ先

サカイ産業株式会社繊維事業部市場開拓課
静岡県島田市細島1349-1
TEL 0547-35-2727(平日8:00-16:30)
FAX 0547-35-2050
<http://www.dock-kun.com/>

